

不登校を経験した人 たちのための高校です

入学試験は面接だけ
その人の人柄を見て判断してくれます

橘 学院高等部

入学についてご相談の方はご連絡ください
電話:047-324-2889

〒272-0021 市川市八幡 3-3-2 J 403
グランドターミナルタワー本八幡
JR本八幡駅・京成八幡駅・都営本八幡駅
徒歩1分

難解な雨漏りを一発解決

雨漏り検査!

特殊検査液で漏水原因をピンポイント説明

修繕費の無駄はカット

壁、天井のしみを避けたいなら、こー観下さい!!

tel 03-5875-6633

見積り無料

信頼と実績の株式会社サーベイ

〒124-0006 東京都葛飾区堀切 2-60-9

検査・修繕

市川市平田 1-20-17

047-326-7000

公益社団法人 市川市シルバー人材センター

へご相談ください

草取り 植木の手入れ

屋内外の清掃 事務・パソコン入力等

毛筆の宛名書き などなど

市川市平田 1-20-17

047-326-7000

市では経費削減のため有料広告を掲載しています。なお広告内容に関する切の責任は広告主に帰属します。詳しくは広告主にお問い合わせください。

北西部エリア

江戸川沿いから堀之内周辺まで、緑地がネットワークのように広がっています。たくさん生きものたちの憩いの場です。

小塚山公園・堀之内貝塚公園

考古博物館から緑が連なるこれらの公園では、エゴノキやイヌザクラの花が咲き、キンラン・ギンランなどの野草も観察できます。緑豊かな林では、シジュウカラやコゲラなどの小鳥にも会えます。キビタキやオオトリなどの旅鳥にも出会うかもしれません。



▲キンラン

江戸川河川敷(旧坂川河口)

里見公園西側の河川敷では、オオヨシキリやヒバリがさえずりにぎやかです。旧坂川の土手にはクロベンケイガニとベンケイガニが見られます。ノウルシ、ノカラムツ、フジバカマなど貴重な野草も自生しています。チョウなど、いろいろな昆虫も見られます。



▲ベンケイガニ

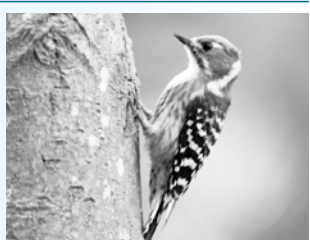
中部エリア

住宅地にそびえるクロマツは、かつて市内中部まで海だったことを物語っています。

また、真間川や国分川などの河川が、街中を流れています。

平田緑地周辺

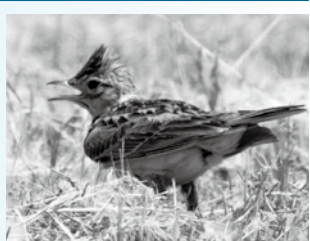
京成線菅野駅の南側にあり、隣接する諏訪神社のクロマツの大木群とともに、豊かな緑となっています。シジュウカラやコゲラ、オナガやカワヒバなどの野鳥が見られます。旅鳥のキビタキなどが立ち寄りしてくれることもあります。



▲コゲラ

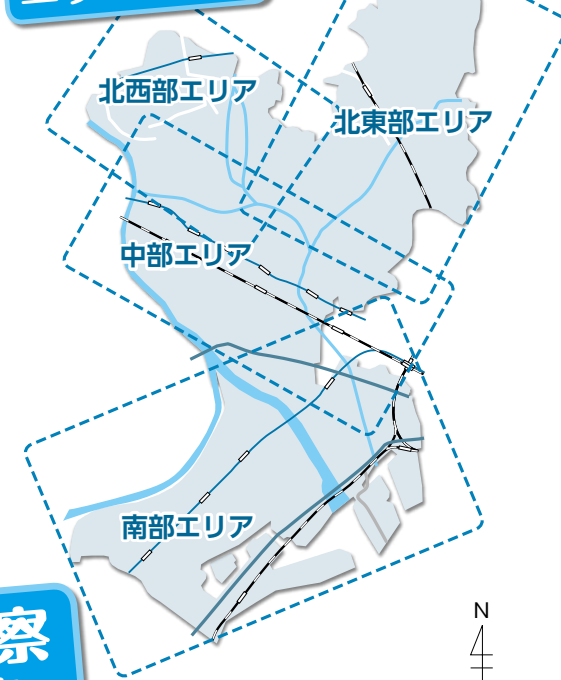
江戸川河川敷緑地

市川駅から南西に歩くこと約10分。河川敷ではヒバリがさえずり、川面ではカワウやオオバン、カルガモなどの水鳥が見られます。河川敷にあるピオトープではクロベンケイガニやトンボのヤゴ、モツゴやハゼなどの小魚も観察することができます。



▲ヒバリ

エリアマップ



市内の自然観察 おすすめスポット ~春~

北西部(堀之内貝塚公園)



北東部(大町自然観察園)



中部(江戸川河川敷緑地)



南部(東浜)

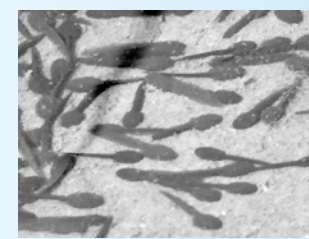


北東部エリア

台地からしみ出る湧き水が、北東部の自然を潤します。特に大町周辺は、生きものたちの貴重な生息空間です。

大柏川第一調節池緑地

市民プールのそばにあり、コサギやダイサギ、カイツブリ、バン、コチドリなどの多くの水鳥が見られます。ピオターセンターではツバメが繁殖して、子育ての様子も観察できます。オタマジャクシやクチボンなどの水の生きものも観察してみましょう。



▲オタマジャクシ(ニホンアカガエル)

大町自然観察園(長田谷津)

動植物園に隣接し、イヌザクラ、フジ、ミズキなどの花が咲き、ツマキチョウ、モンシロチョウ、キタテハなどのチョウやシオヤトンボが見られます。ピオトープ池ではオタマジャクシなどの水の生きもの、園内ではカワセミも見られます。



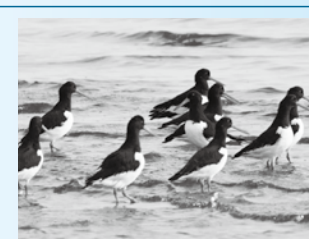
▲ツマキチョウ

南部エリア

市川の干潟には、カニはもちろん、たくさんの海鳥がやって来ます。それほど豊かな干潟が市川にも残されています。

三番瀬

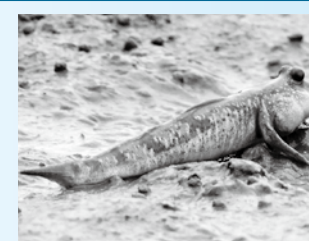
干潮時に出かけましょう。東浜1丁目の三番瀬では、たくさんのシギやチドリの間、サギの間、夏鳥のコアジサシに出会えます。珍しいミヤコドリも観察できるかもしれません。干潟にはアサリやシオフキガイ、チゴガニやコメツキガニなども生息しています。



▲ミヤコドリ

江戸川放水路(新行徳橋周辺干潟)

新行徳橋周辺に広がる干潟では、トビハゼやチゴガニ、ヤマトオサガニ、アシハラガニなど、たくさんの干潟の生きものが観察できます。干潟を掘れば、オキシジミやホンビノスガイなどの貝も見つかります。シギやチドリの仲間も見られます。



▲トビハゼ

生物多様性とは、「生きものたちの豊かな個性とつながりのこと」です。私たちの生活は、自然や生きものたちと密接に関わっており、生物多様性は命のみなもとです。市では市内の自然環境を未来に残すため

にさまざまな取り組みを行っています。未来の子どもたちに貴重な自然を残す足掛かりとして、みなさんも自然と触れ合ってみませんか。

☎712-6307 自然環境課

自然とふれあい 自然に親しむ

広報いちかわ広告募集

7~9月の広報いちかわに
掲載する広告を募集します

掲載料 1コマ(タテ84×ヨコ57.5リメートル)を1
回掲載した場合
●1号広告(第1週号/4色).....50,000円
●2号広告(第3週号/2色、色の指定は不可)
.....30,000円
2~4コマ分を1広告として掲載することもできます。
(掲載料はコマ数分必要)

今回募集分
【1号広告】7月2日号、8月6日号、9月3日号
【2号広告】7月16日号、8月20日号、9月17日号

<申し込み方法> 4月28日(木)までに広告掲載
申込書、広告の原稿案(紙)、広告に関する
事業の説明書を(市)広報広聴課へ提出。複数
回の掲載申し込みもできます。
☎334-1107 同課

調査員募集 あなたが見つけた生きものを投稿してください 生物多様性モニタリング調査にご協力を

市では、自然環境のデータ収集のため、生物多様性モニタリング調査を行っています。調査員として登録されると、市が選定した指標生物を見つけた時に情報を投稿していただけます。

調査結果は市公式Webサイトの「いちかわ生きものマップ」に掲載しています。現在小学生から70代まで、幅広い年齢層の方が参加しています。参加希望の方は、自然環境課までお問い合わせください。



▲里山を代表するヤマユリ



▼カワセミはモニタリング調査でも人気



▼いちかわ生きものマップ

調査員にインタビュー



伊藤遼太くん(小学6年生)
長田谷津が好きで、よく通っています。中でも色が鮮やかなカワセミと、エコー池にいるホトケドジョウが好きです。
この調査には自然環境課の人に勧められたのがきっかけで、半年ほど前から参加しています。旅行先で生きもの調査をするのですが、望遠鏡の使い方など、調査員として学んだことが役に立っています。自然を観察すると自分の知らなかった発見があって面白いので、たくさんの人に参加して欲しいです。

参加者募集 身近な春を感じる 自然環境講座に参加しよう

自然環境講座では、年間を通して緑地から干潟までさまざまなプログラムを用意し、みなさんの参加をお待ちしています。4・5月の講座は次のとおりです。
☎712-6307 自然環境課

春の芽吹きと生きものたち
4月23日(土)午前10時~正午
里見公園・江戸川河川敷
先着20人(要申し込み)

春の雑木林を歩いてみよう
5月21日(土)午前10時~正午
柏井キャンプ場
先着20人(要申し込み)